

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [北九州市立中井小学校] 担当教諭名 [荒木 美穂] (5年1・2・3組 102名)
 相手国・地域 [台湾]
 海外学校名 [Wen Ya Elementary School] 担当教諭名 [Ruth Hou]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|-----------|-------------------------------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 総合的な学習の時間 | 中井グローバルプロジェクト | 45 |
| | 国語 | 明日をつくるわたしたち | 2 |
| | 図画工作 | 伝えたい気持ちを絵にこめて | 2 |
| | 外国語活動 | She can run fast. He can jump high. | 2 |

■作品に込めた想いについて教えてください。

| | |
|--|---|
| 題 (テーマ) | Mother Earth and the Guardians |
| メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ) | 地球を長持ちさせるため、自分たちができる4つのこと「自然エネルギーの活用」「脱プラ」「3Rの取組」「水のリサイクル」に取り組んでいきましょう！ |



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|---|--|
| ・身近な問題としてとらえていた様々な環境問題が、今回の取り組みを通して、実は外国の友達の問題でもあったことを知ることができた。世界規模で「地球を守っていこう」という思いにつなげることができたことは、大変有意義であった。 | ・相手校との調整が難しいことがあった。9月が始業式なこと、旧正月休みがあることで、学習にずれがないようにするのが難しかった。また、今年度はオリンピックイヤーのため絵を手放す時期が早々であった上に、新型コロナウイルス肺炎感染防止の休校措置もあり、まとめの課程で課題が残った。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|--|--|
| ・近くの国でありながら、場所や風土、文化等について知識がない子どもが、ほとんどであった。しかし、フォーラムの動画やスカイプ、手紙などを通じて、興味関心が高まり、身近な国としてとらえられるようになった。 | ・近い国でもあることで、実際に訪れた経験もあり、取り組む前から、身近に感じていた教員が多かった。動画等で台湾の小学校の様子を実際に知り、また環境に対する考え方を共有できたのは、収穫であった。教員が、直接、台湾ウエンヤ小学校に絵を受け取りに行き、スカイプをつなぐ計画を立てていたが、新型コロナウイルス肺炎感染防止のため、キャンセルをせざるを得なかったことが残念であった。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|--------------------|-----------|--|---|----------------------|
| 出会い 自己紹介 | 6月 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsとの出会い ・学校紹介動画 ・自己紹介動画 ・はじめましてスカイプ ・手紙 | 協働学習のテーマ決定に向けて、北九州市の環境施策を意欲的に調べていた。英語を上手に話す相手校の児童に感化され、一生懸命英語で自己紹介をしたり、手紙を書いたりした。 | 総合10 外国語活動2 |
| 共有 テーマ学習 | 9月 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッション写真アップ ・4つのテーマごとでプレゼン動画 ・地域に学んだことを発信 | 相手校が考えていた環境に関する問題と、自分たちがとらえていた環境問題の共通点を見つけ驚いていた。違う問題については、調べようとする意欲が見られた。 | 総合13 国語2 学校行事4 |
| 融合 メッセージ作成 | 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ共同会議スカイプ交流 | 英語での交流であったので、事前に大まかな内容を翻訳し提示していた。スピーチに興味を示し、英語で理解をしようとする児童が見られた。 | 総合7 |
| 創造 壁画制作 | 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・企画内容等について教員間でメールした内容を確認 ・壁画制作 | 2校の協働完成の絵を見通し、制作に取り組んだ。本校102名の制作を楽しんでいた。協働による絵の制作は、この地点では想像できていなかった。 | 総合8 図画工作2 |
| 評価 振り返り 自己評価 | 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・完成画お披露目スカイプ交流 ・相手校からの絵の開封 ・感想交流 | スカイプで見えていたが、実際に送られた絵を見て、歓声を上げた。全国休校措置のため、ふり返りの時間がきちんと取れなかったのが残念であった。 | 総合3 |

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

| 学習目標・つきたい力 | 評価 | 先生が手応えを感じた場面・理由 |
|-------------------------------|----|---|
| 自文化を理解する力 | 4 | 自分たちが住んでいる北九州市の環境施策について、改めて再確認し、シビックプライドを高める姿が見られた。 |
| 異文化を理解する力 | 5 | ウェンヤ小の動画や手紙を見たとき、服装や漢字文化、学校生活などに触れ、共通点や相違点を発見していた。 |
| 情報活用能力 (収集・まとめ・発信) | 5 | ウェンヤ小の友達に、自分たちの環境に対する考えを発信するために、施設見学やインターネットや本などの資料を収集していた。 |
| コミュニケーション力 (双方向・共感・英語) | 5 | 学んだ英語を活用したり、ジェスチャーを使いながら交流したりしていた。伝わったとき、歓声を上げていた。 |
| 批判的に思考する力 (客観的・論理的視点) | 4 | 普段の暮らし方を、環境保全の観点から見直し、考える場面があった。そのことで行動が変わる場面が見られた。 |
| 主体的に考え行動する力 | 4 | 伝えたいことをどのように伝えるかの話し合いでは、通常の様子より、意欲的に学習を進める児童の様子が見られた。 |
| 他者と協働する力 (学級内・海外の相手) | 5 | 3つのブロックにおける会議や絵の協働制作、ウェンヤ小との企画会議などですり合わせた考えを、共に主張し発信する姿が見られた。 |
| 思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作) | 5 | 絵に表現する過程で、自分の思いが伝わるように試行錯誤する様子が見られた。協働した絵が想像をはるかに超え、感動していた。 |
| 評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価) | 3 | ウェンヤ小から戻ってきた完成した絵を目の当たりにし、感動していた。時間があれば、深い学びにつながれたと思う。 |